

平成28年度 加茂市国語部 活動報告

副部長 白井 美智

1 研究主題

「9年間の系統的・連続的な国語指導のあり方を検討する」

2 研究の概要

国語部ではこれまで、9年間の系統的・連続的な国語指導のあり方を検討するために、会員が公開授業を行い子どもの主体的な学びを引き出す言語活動のあり方について検討してきた。昨年度は、国語教科書の出版社変更を受け、東京書籍から関係編集者を招聘し、教科書の編集の意図や使い方のポイント、小中のつながりなどについての説明を受けた。

今年度は、会員から「書写は9年間継続的に指導するのに、その指導法についての研修がほとんどなく、教師個人の力量に任されているのが現状である。指導法を学びたい」という要望が出された。そこで、『書写』についての実践的な指導力を高めるための研修を行った。

3 研究の実際

小中学校の書き初め指導が始まる前、11月中旬に実施した。

会員がそれぞれの習字道具と書き初めの手本を持参し、実際に課題を書いて練習した。その後に、講師先生から筆遣いや運筆、字配りのポイントなどについてご指導いただいた。最後に、お互いの作品を鑑賞しながら、その良さについての意見交換をした。

それぞれが筆を持ち、手本を見ながら書き始めると、「とめ」「はね」「はらい」などのうまくいかないところが具体的に出てくる。講師先生からは、実際に筆を持って教えていただき、バランスよく字配りするためのポイントなどについてのアドバイスがあった。

自分が上手にできない（うまく書けない）ところを指導されながら、子どもの筆遣いや作品の傾向をよく見て、一人一人の違いに沿った具体的な言葉で伝えることがとても重要だと再確認した。

4 成果と課題

実践的な指導法だけでなく、初歩的な道具の使い方や筆遣いなども含め改めて確認することができた。

教室で書き初めを指導する際に有効な研修になったという声が多数寄せられた。日本の文化を教え継承するための書写指導の研修は今後も必要に応じて実施したい。

